

県立広島病院 実習シラバス

整形外科

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義で得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際に医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療計画を立案することができる。
- 5) 整形外科領域で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 整形外科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR(問題志向型診療記録)を作成できる。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切に提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報を適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予測や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

【実習の内容】

- 1) 実習初日にオリエンテーションを行う。
- 2) 指導医を割り当てるので、実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。
- 3) 具体的な診療行為の内容は、逐一指導医お支持を仰ぐこと。

【週間スケジュール】

	行事, 等	担当	場所	時間
月	オリエンテーション 外来診察日、手術日 カンファレンス	各指導医	外来、病棟、手術室	9:00 – 17:00
火	手術日	各指導医	病棟、手術室	9:00 – 17:00
水	外来診察日、手術日	各指導医	外来、病棟、手術室	9:00 – 17:00
木	手術日	各指導医	病棟、手術室	9:00 – 17:00
金	外来診察日、手術日	各指導医	外来、病棟、手術室	9:00 – 17:00

【評価】（配点計は 100 点）

10 項目の到達目標が実習中にどの程度達成されたか評価する。

評価項目	配点
コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる	10 点
基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる	10 点
身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる	10 点
主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療計画を立案することができる	10 点
整形外科領域で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる	10 点
整形外科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる	10 点
収集した情報を基に、POMR(問題志向型診療記録)を作成できる	10 点
症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切に提示することができる	10 点
診療に必要な知識・情報を適切に検索・収集することができる	10 点
医療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる	10 点